

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム	第2601回	6月21日
クラブ協議会		
担当者	会長・幹事・各委員長	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2600回	6月14日
客話：「私の将棋人生と県王位戦の解説」香川県王位戦 優勝者 神高幸弘様		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

みなさん、こんにちは。
今日はガバナー補佐の丹生様が来られております。後ほど一言頂戴したいと思います。
一昨日に香川第一分区の新旧会長幹事会がありました。年度の変り目の時期になりました。
今期は大きなトラブルもなく過ごせたと思ったのですが、最後になり石川会員がお亡くなりになるという不幸がありました。お手伝いに来ていただいた岩本会員、松岡会員にはありがとうございました。
ただ不幸ばかりではなく嬉しい出来事もありました。小竹会員が県知事賞を頂いたということです。おめでとうございます。
また本日は客話を頂ける神高様もお越しです。後ほどお話を頂戴したいと思います。
本日もどうぞよろしくお祈りします。

ニコニコBOX

1年間お世話になりました。IMにはたくさん参加ありがとうございました。	丹生兼宏様
誕生日をいただきありがとうございました。	江島
図らずとも知事表彰頂きました。	小竹
石川さんお世話になりました。	岩本
石川先生今まで大変お世話になりありがとうございました。安らかに眠り下さい。	遠藤
遅刻	1件
合計6件	
本日の合計	35,500円
2023-2024年度累計	867,000円

ビジター

小豆島RC ガバナー補佐 丹生 兼宏 様

メイクアップ

6月11日 丸亀東RC 岡田
6月12日 高松南RC 吉岡 低田 木内 村上


出席報告 出席委員長：低田陽介

会員数 / 39名	出席規準数 / 36名
出席者数 / 20名	欠席者数 / 16名
出席率 / 55.56%	ビジター / 1名
最終出席率 / 5月24日 48.65%	→ 78.94%

6月21日 今日は何の日	今日生まれの有名人
スナックの日/冷蔵庫の日 1752年 フランクリン、雷の実験 1951年 日本、ユネスコとILOに加入	1965年 松本伊代 1941年 長山藍子 1964年 石井浩郎 1935年 フランソワーズ・サガン 1946年 鈴木ヒロミツ 1905年 サルトル
誕生花	ジギタリス(Digitalis)、花言葉は“胸の思い”
誕生石	ブルーサファイア(blue-sapphire)、宝石言葉は“慈愛・誠実”

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー




2023-2024年度 5月定例理事会

- 日時 2024年5月24日
 場所 JRクレメントホテル高松例会場
 出席者 磯崎、遠藤、江島、村上、吉岡、堀井
 岩本 (オブイザーバー)
- 議題 ① クレメント (会場費・食費) の値上げ
 → 他クラブとも協議 クラブによって事情が異なるため、来期から一部受け入れ。クラブ会費は現状維持 会費値上げは今後あり得るため、その際は理事会、総会、承認手続きが必要。
- ② 青少年奉仕の一環で少年サッカー大会へ5万円協賛
 → 承認
- ③ セブンデイズ終了の神原氏の入会 → 承認
- ④ 浅原会員、生家会員 退会届 → 承認

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

28. 未完成だから発展がある

Henry Ford was not satisfied with his first automobile ; if he has been satisfied, his automobile business would not have prospered.

ヘンリー・フォードは彼が作った最初の車に満足しなかった。もし彼が満足していたら、その自動車事業の繁栄は見られなかったろう。

大をなす人間はなかなか味のあることを言うものだと思う。ロータリーがその創立当初に於てまことに頼りない存在であったことを彼は率直に認めている。いやそれから二十年、三十年と時を経ても、なお混乱と試行錯誤の繰り返しで、決して満足すべきものに到っていないことも知っている。逆に、自分の生涯に完成しないことを望む、とさえ言っているのである。

つまりこういう事なのだ。物事は完成しないから発展する。人間は何時でも不満足だから努力する。未完成こそ人生であって、生き甲斐も未完成の中にある。ファウスト博士は万巻の書を読み宇宙の理を探求してなお不満足であった。然し、これで満足—— “止まれ汝はかくも美わしければ！” と叫んだ瞬間、時計の針は落ち心臓の鼓動は止まった。

不満足は不平と同義語ではない。不満足が不平不服に繋がってはならぬ。不満足は生き甲斐でなければならぬのだ。このことを私は特に今の若者に告げたい。恵まれた先進諸国の若者は、常に現状不満でありながら、自分自身が積極的に現状を打開して前へ進もうという意欲に欠けている。これは不幸なことだ。人間が生命を燃焼させるエネルギーを失ったことではないか。物質的繁栄と福祉の充実が人間性を喪失させるとあっては由々しき問題である。我々ロータリアンは今再び “I will” というシカゴ魂に思いを到し、「青少年と共に働く」運動に一段と力を注がねばなるまい。

金銭の寄附などということより、その方がはるかに大きな奉仕である。

「国が何をしてくれるかではない。君達が国の為になんか出来るかだ」と呼びかけた青年大統領ケネディの言葉はすばらしい。この一語は歴史に残るアメリカの栄光である。人間の威信

を一挙に取りもどす呼びかけではないか。然るに何ぞや、「世界は二人の為にある」などと赤面もせず洗惚と歌い痴れている昨今の結婚式風景—— 一億総白痴化というのが、現代文明は脳軟化症文明である。

ロータリーに於てもそういう傾向は免れない。ロータリーに対して色々批判や不満を持つ者は多い。然し地区がどうしてくれ、国際ロータリーがどうしてくれ、という要求だけで自ら立ち上ろうという意欲が盛り上らないのだ。奉仕というけれどロータリーの基本理念が、あくまで個人個人の実践を第一眼目とする点を忘れてはなるまい。ロータリーの襟章は奉仕の免罪符ではない。service とか、friendship とかいう言葉は属舞繰り返されるが、ここでもう一つ I will ……という言葉は忘れない様にしようではないか。

ところで人間が齢をとると消極的になる様に、組織も形がととのって一応社会的な評価が定着してくると、どうしても消極的になり行動に慎重を期する様になることも免れない。失敗によって評価を落とすことを恐れるからだ。この点についてポールはやはりヘンリー・フォードの大変うまい言葉を引用している。フォードはある新聞記者にこう言ったという。「自分は一度も失敗したことはない。自分はただあれやこれや実験を重ねてみて、その中のある実験が成功しなかったというだけのことだ」——これもさすがに大人物の言葉だ。人生に処する余裕というか、遊戯三昧というか、これ位の気持でない人間は成長もないし組織の進歩もない。

ロータリーにしても要するに神ならぬ人間の集まりである。色萎問題もあろう。過ちもあろう。ポールは「完成しないことを望む」などと言っているが、実は似令望んだところで完成するわけなどない。完成しないから存在するのだ。ロータリーはこれから先も永遠に試行錯誤を続けてゆくことだろう。従ってまた絶えず批判にさらされ、不満の声も聞かねばならぬ。ポールの声にもう一度耳を傾けよう——決して自己満足に陥るな。順調な時も逆境にある時も変わらず、平和に於ても戦時に際しても敢然と事に立ち向う覚悟を持とう。思考力を柔軟に保て。硬直化させてはならぬ。世界は絶えず流動変化している、ロータリーはこの世界と共に変化成長しなければならぬ…… ポールはまたこうも言っている——本当に有効且実行性ありという合理的な見通しがあるなら、どんな革新 = inovation = にも応ずる用意がある……。

それにしても、なお心しなければならぬのは、革新の名のもとに陥り勝ちな大衆迎合である。人は往々にして安易な道を選びたがる。まかり間違えばロータリーは単なる寄附団体になってしまふ……やはり試行錯誤を繰り返しながらロータリーの物語は幾度も書き替えられてゆくのだろう——

“The story of Rotary will have to be written again and again”

IT・広報委員会よりお願い

週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願ひ申し上げます。

次週のプログラム 第2602回 6月28日

クラブ協議会

担当者 会長・幹事・各委員長

例会場 JRホテルクレメント高松